

長崎で生まれた日本初の女性医師 楠本イネを語る

【第1部】 講演 『私が描きたい楠本イネ』

はせつきもとや
小説家 馳月 基矢氏



【第2部】 フォーラム
“おイネ・シーボルトと
長崎の医療・文化”
～ロールモデルの女性たち～

馳月基矢氏

山本芳江氏(長崎女性史研究会)

増崎英明氏(長崎大学名誉教授)

昨年、長崎市でシーボルト来日200年記念事業が行われました。日本に近代西洋医学を伝えた父親の影響で、娘イネも医学の道を歩み始めました、それまでを描いたのが、この小説『おイネの十徳』です。



講師プロフィール

1985年、長崎県出身。京都大学文学部卒、同大学院文学研究科修士課程修了。2020年、『姉上は麗しの名医』(小学館時代小説文庫)でデビュー。同作が第9回日本歴史時代作家協会賞・文庫書き下ろし新人賞を受賞し、時代小説界期待の新星として注目を集める。著書に天保期の長崎を舞台にした『おイネの十徳』(長崎文献社)があるほか、「拙者、妹がおりまして」シリーズと「義妹にちょっかいは無用にて」シリーズ(双葉文庫)、「蛇杖院かけだし診療録」シリーズ(祥伝社文庫)、平成の五島列島を描いたファンタジー『みどりの海を覚えている』(EYEDEAR)などがある。主な作風は江戸を舞台にした青春群像劇。

★本の販売&終了後にサイン会あり★

日時:2024年8月24日(土)
14:00~16:30

場所:長崎県医師会館2階 講堂

*駐車場がないので、ご注意ください

参加申込QRコード ⇒



参加費無料
当日参加も可

主催:ながさき女性医師の会

後援:長崎県医師会、長崎文献社

日本女医会長崎支部

お問合せはメールで

joi.net.nagasaki@gmail.com